

大人も子どもも
楽しめる!

イベント大特集

県立美術館

秋のコレクション展

■会期：12月25日(金)まで

「祈りと瞑想」をテーマに、彫刻家・小坂圭二(野辺地町出身)の宗教彫刻や現代美術作家・小野忠弘(弘前市出身)の作品を紹介いたします。また、ピカソの銅版画「女の頭部、横顔」を公開します。



小野忠弘[BLUE]1993年、ミクストメディア

☎017-783-3000

http://www.aomori-museum.jp/

開催中

県立梵珠少年自然の家

梵珠わくわく体験ランド

アドベンチャービンゴ、火起こし体験

焼板工作、梵珠チャカボコけん玉ほか

■期日：11月1日(日)

■対象：定員：小・中学生と保護者 50名

■参加料：一人500円程度

■募集期間：10月27日(火)まで

(定員になり次第終了)

申込は電話、FAX(0173-29-3306)

又はメール(e-bonju@pref.aomori.lg.jp)

☎0173-29-3303

11月1日(日)



青い森アリーナ

よさこいフェスタ2009

県内外のよさこいチームが大集合!躍動感あふ

れる演舞の競演を思う存分お楽しみください。

■日時：11月22日(日)

10:00~16:30(予定)

■場所：青森県総合運動公園青い森アリーナ

■入場料：小人(中学生以下)無料

大人(高校生以上)前売券300円 当日券500円

前売券は10月10日(土)より販売開始

青い森アリーナ ☎017-737-0600

http://www.sport-aomori.jp/

11月22日(日)



県立郷土館

特別展

「北海道・北東北縄文巡回展」

世界遺産登録をめざす北海道・北東北を中心とした縄

文遺跡群を実物資料とパネルで紹介いたします。

■会期：10月20日(火)~11月23日(月)

■観覧料：一般310円(250円)、

高校・大学生150円(120円)

()内は20人以上の団体料金



☎017-777-1585

http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/culture/kyodokan.html

10月20日(火)~

県立種差少年自然の家

たなさしワールド「秋」

秋の自然を楽しむ

(自然に親しむゲームなど)

■期日：10月25日(日)

■対象：定員：小・中学生と家族 100名程度

■参加料：一人500円程度

■募集期間：9月30日(水)~10月14日(水)

(定員になり次第終了)

申込は電話又はFAX(0178-38-2727)

☎0178-38-2131

詳しくは県庁ホームページ [種差少年自然の家](#) 検索

10月25日(日)



県営スケート場

アイススケートリンクいよいよオープン!

待ちに待ったアイススケートリンクがオープンします。

オープンに当たり、楽しいオープンイベントを開催します。

■期日：11月7日(土)

■内容：○マスコットキャラクター「アルファくん」と一緒に

滑ろう!写真撮影会もあります。(カメラは各自持参)

○初めてでもOK「初心者スケート指導タイム」

○誰でもできる水上レクリエーション

■参加料：無料(ただし、リンク利用料と

貸靴料は負担いただきます)

県営スケート場 ☎017-739-9500

http://www.jomon.ne.jp/~skate01/

11月7日(土)



朗読を聴くのと熱読するのでは、想像の広がり違います。

朗読は、情景を思い浮かべながら楽しむことができる、まさにラジオの世界。お客さまの中には、映像や音楽などの演出が無いのがお好みの方、自ら朗読作品を読むには抵抗があるという方、また、若い頃に読んだ作品を数十年前ぶりに朗読して聴いたら、

私も持っている部分、さらけ出す、人間くさいところが太幸の魅力。

大幸作品に出会ったのは9年前。それまでの暗い印象とは全く違い、とても面白く感じました。その瞬間にもや私のように固定観念にとられ、太幸の素晴らしいを知りたくて横書きしている人が大勢いるのではないかと、それが、太幸作品の朗読をはじめたきっかけです。

私は、太幸は弱い人間ではなく、人間の奥底に潜んだものをさらけ出せることも強い人間だと感じます。小説を書くことと真摯に向き合い、真面目に純粋だからこそ苦しい。一方シリアスなことをサラリと軽く表現し、読み終えれば爽やかな。その辺が、太幸自身「道化の精神」と言うように、読者に対するサービスピリット旺盛な所なのでしょう。

当時の印象と違った新鮮味があり、また読み直したいという方がいらっしゃいます。それだけ人間の五感や想像力つてすごいんです。だからこそ、太幸ならではの情景が浮かぶ表現、純粋な心で感じることその文章を、朗読を通して大切に伝えたいと思っています。



青森には、土地ならではの言葉と人の温かさがあります。

初めて青森を訪れたのは、去年の秋。合浦公園で頼に冷たい風を感じたととき「太幸はここから出てきたんだな」と実感し、また、疎開の時に暮らした新座敷での朗読会は、たまらない感動がありました。

青森県は、訪れた誰をも受け入れてくれる人が多く土地。それが、太幸のサービスピリットにも通じる。津軽の人特有の気質なのだと感じます。私にとって、多くの方やゆかりの地との結びつきをつくってくれたのは、彼の作品があっただけだと思っています。



「攻めの農林水産業」の進展と共に、量販店や道の駅等の直販の場に、新たな加工品や特産品が増え、(次生産)から二次加工をして三次(流通)という流れが出てきている。農林水産業の六次産業化により収益アップと雇用つくりが進んできたが、今回のファンドの造成により更にそれを加速させたいと考える。

強く高き志をもつ起業家創業者の皆さまが、これらのファンドで青森の元気を創ってくださることを期待したい。

読者プレゼント DAZAI100年トートバッグ

応募方法

ハガキに、住所、氏名、年齢、電話番号、今回の「県民だよりあおもり」の感想、興味を持った記事を明記の上、下記宛先にお送りください。なお、応募者が多い場合には抽選となります。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。ご了承ください。

030-6570 青森市長局1-1-1 青森県広報広聴課 「読者プレゼント」係



ブラウン2名様
ネイビー3名様
※色はお選びいただけます。

原さよ【フリーアナウンサー・朗読家】
大分県大分市出身。元OBS大分放送アナウンサー。朗読を「朗読白」(彰文社)著者の長谷由子に師事。大分県立総合文化センターで朗読活動を行っている。今年公開の映画「ワイルドの翼」(松尾トシホ主演)のメイン特撮に原作用朗読として参加し、声と顔の両方で活躍。今秋の朗読イベント「朗読の翼」に参加し、声と顔の両方で活躍。今秋の朗読イベント「朗読の翼」に参加し、声と顔の両方で活躍。今秋の朗読イベント「朗読の翼」に参加し、声と顔の両方で活躍。

申吾のほろとこコラム

青森県知事 三村 申吾

農工商連携28億円ファンド・スタート

本県にとって雇用場の創出は喫緊の課題である。そして、企業の誘致や増設は、雇用の確保、直接投資効果という点から大変有効である。その思いあつて、「攻めの農林水産業」へのトップセールスと共に、企業へのアタックや、本県の人材や技術力、支援力を紹介する「産業立地フェア」を地道に行っている。この6年間で、企業誘致・増設数は計155件。世界的な不況の中にあつても、この2年の誘致件数がバブル以来最高となつたのは、地道な努力により、青森力が知られるようになったからではないか。しかし、世界的メーカーが集積すればするほど、この青森においても、世界不況の影響を直に受ける。今後、も全力で誘致・増設を進めるが、地元産業者による地場の人材・技術・資本等を活かしての起業・創業もさらに進めなければならぬ。

これまでも、ベンチャー企業を支援する「あおもりクリエイトファンド」(22億円)、「業種転換や新たな仕事のスタートアップを支援する」あおもり元気企業チャレンジ基金(50億円)を立ち上げ、そして今回、28億円規模の「あおもり農工商連携ファンド」をスタートさせた。

「攻めの農林水産業」の進展と共に、量販店や道の駅等の直販の場に、新たな加工品や特産品が増え、(次生産)から二次加工をして三次(流通)という流れが出てきている。農林水産業の六次産業化により収益アップと雇用つくりが進んできたが、今回のファンドの造成により更にそれを加速させたいと考える。

強く高き志をもつ起業家創業者の皆さまが、これらのファンドで青森の元気を創ってくださることを期待したい。